

イベント情報：東日本大震災関連

報道関係各位

2011年8月31日

民間災害支援団体「CIVIC FORCE」

大規模災害支援の国際会議、東京にて主催

アジア太平洋各国から災害支援のエキスパートが来日し、
アジア太平洋地域での助け合いの仕組みづくりを提唱へ

9月29日(木)9:30～17:00 於：国連大学(参加無料)

国内大規模災害支援活動を専門に行う民間の連携組織「公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)」(東京都千代田区、代表理事：大西 健丞)は、来る9月29日(木曜日)9時半より、国連大学(東京・表参道)において、災害支援の国際会議を開催します。フィリピン、インドネシア、スリランカ、韓国や台湾から災害支援の専門家が来日し、アジア太平洋地域で大規模災害が起きたとき、相互に資金と情報を迅速且つ効果的に提供し合える相互支援型の国際枠組みを構築するための議論を展開します。国際会議への参加は無料で、インターネット特設サイトにて申し込みの受付を開始しました(先着順300名様、交流会は別途有料)。

日本を含むアジア太平洋地域では、近年大規模な自然災害の発生件数が増えており、人的被害に加え経済的社会的な被害が深刻になりつつあります。しかしながら、各国内で、行政・企業・NGOの連携は必ずしも有効に機能しないうえ、諸外国からの支援の受け入れ体制が整備されず、効果的な災害支援を実現できていません。

Civic Forceでは、従来から国内大規模災害に備える活動の一環として、上記のような課題を解消するアジア太平洋地域の新しいプラットフォームを構築すべく、活動を続けてきました。緊急支援を要する際に、各国の行政・企業・NGOが連携して、迅速な資金と情報が流れる仕組みを作り、日本を含むアジア太平洋の相互支援体制を強化することを狙いにしています。

東日本大震災では、Civic Force やジャパンプラットフォーム(※)により、行政・企業・NGOの連携による災害支援が実現し、その効果を発揮しはじめたところです。また、フィリピン、インドネシア、韓国、台湾などが、迅速に募金活動を開始し、Civic Force に対して寄付を送っています。

「アジア太平洋災害支援サミット」の1回目は、2009年4月に開催し、日本のジャパンプラットフォームの例を学び、2013年までに各国が連携体制を構築する目標を共同採択しました。今回は、国内外の災害支援の専門家が結集し、連携体制を構築する際の具体的な課題や展望を議論します。インドネシアからは、企業の防災活動や災害支援の取り組みの中核を担う「インドネシア災害支援マネジメントネットワーク」の責任者が来日し、インドネシアにおける行政・企業・NGOの連携の有用性について報告されます。フィリピンからは、ビジネスセクターのトップ「フィリピン災害支援企業ネットワーク」代表が来日し、災害支援における企業の役割について問題提起します。日本からは、ジャパンプラットフォームの代表理事で、富士ゼロックス特別顧問の有馬利男氏や、副代表理事で、大阪大学教授の中村安秀氏のほか、NGO関係者が登壇します。

災害発生時の緊急支援において、各国行政・企業・NGOが連携し、お互いに助け合うプラットフォームは、世界でも例がありません。Civic Forceでは、日本国内の災害支援において大変有効な機能としてとらえ、議論と調整を推進していく計画です。

- ★イベント告知欄にて、告知のご協力いただきたくお願い申し上げます。
- ★サミット当日の様子をご取材いただけます。また、来日する専門家は、個別取材に対応することが可能です。取材案内状は、後日お送り申し上げます。

シンポジウムの応募方法や当日のプログラムは以下の通りです。

◆事業概要

- 日時： 2011年9月29日(木曜日)
場所： 国連大学ウ・タント国際会議場(東京メトロ表参道駅 B2 出口より徒歩 5 分)
開催時間： サミット 9:30~17:00(受付開始 9:00)
交流会 17:30~
参加費： 無料(交流会のみ 4,000 円、現地にて現金払い)
定員： 300 名(先着順事前登録制)
申込み方法： シンポジウム特設サイトから申し込み
<http://www.civic-force.org/conference/>
主催： 公益社団法人 Civic Force (協力： 笹川平和財団)

※事前登録いただいた方で、当日ご来場いただける方には、9/15 前後に確定通知を送ります。

※注： ジャパンプラットフォームとは：

紛争や災害が起こった際に、すみやかに有効な援助を提供できるよう、NGO・政府(主に外務



省)・財界(日本経団連)が連携して設立した人道支援のための国際組織。2000年に発足。

◆Civic Force について

国内の大規模災害を支援するプロフェッショナルチームです。企業や行政、NGOとの連携を活かして、かつてないスピードで質の高い支援を提供します。

東日本大震災では、平時からの準備により、大震災発生翌日から現地入りすることができました。直後から大規模な支援物資の調達・配送やお風呂の設営事業、離島への大型カーフェリーの就航のほか、NGOとの連携し、心のケアや高齢者の健康管理、外国人支援のほか、女性に対するケアなどの活動を東北全土で展開しています。これらの活動に対して、8月10日現在、4.9万をこえる個人・法人から約10億4千万円のご寄付をいただいています。

◆本件に関する問い合わせ先:

公益社団法人 Civic Force サミット準備事務局

TEL: 03-03-5213-4930 FAX: 03-5213-4929、Email: conf@civic-force.org

URL: <http://civic-force.org/>

※別添: プログラム(次ページ)

(別添)プログラム案:

※敬称略、セッションは同時通訳付き。今後、内容は変更することがあります

09:30-10:10 オープニングセッション

大西健丞(公益社団シビックフォース 代表理事)

茶野順子(笹川平和財団 常務理事)

Faisal Djalal(インドネシア災害支援マネジメントネットワーク事務局長)

有馬利男(認定 NPO 法人ジャパンプラットフォーム代表理事)

10:10-12:00 東日本大震災において、企業、自治体、行政はどう連携したか

【事例発表&パネルディスカッション】

認定 NPO 法人ジャパンプラットフォーム事務局

村井雅清(被災地 NGO 協働センター代表)

石井宏明(認定 NPO 法人難民支援協会 常務理事)

野村浩一(富士ゼロックス株式会社 CSR 部)

永田進(袋井市防災課 専門官)

13:15-15:15 各国における災害支援の取組み

～経済界・NGO セクター間の協働はどのように進んでいるか～

各国参加者(各国経済界代表 1 名、災害支援 NGO 代表 1 名)が各自各国での経済界・NGO セクターの連携取り組みのプレゼンを行います

【登壇者】

中村安秀(大阪大学教授、認定 NPO 法人ジャパンプラットフォーム副代表理事)

Ramon R Isbert(フィリピン災害支援企業ネットワーク代表)

Eun-Ae Lee(韓国災害救護協会事務局次長)

Faisal Djalal(インドネシア災害支援マネジメントネットワーク事務局長)

Chin-chun Liu(台湾 Root Medical Peace Corps 理事長)

他計約 10 名の海外からの参加者が各国の取組を発表します。

15:30-16:45 パネルディスカッション

各国内、及び各国間の連携を更に進めるためには

パネラー:韓国、台湾、スリランカ、インドネシア、フィリピン、日本の代表者各国 1 名が参加し、お互いの経験から何を学び、今後相互にどう連携していくのかについてディスカッションします

16:45-17:00 クロージングセッション

Ramon R Isbert／大西健丞

17:30- 交流会:UN Cafe

(どなたでもご参加いただけます。軽食、お飲み物をご用意させていただきます。定員制ですので、事前にお申込みください 会場で現金支払いです)